

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月15日
【四半期会計期間】	第63期第1四半期(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)
【会社名】	株式会社フジマック
【英訳名】	FUJIMAK CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 熊谷 俊範
【本店の所在の場所】	東京都港区新橋五丁目14番5号
【電話番号】	03 - 3434 - 7791
【事務連絡者氏名】	経理部長 野原 国弘
【最寄りの連絡場所】	東京都港区新橋五丁目14番5号
【電話番号】	03 - 3434 - 7791
【事務連絡者氏名】	経理部長 野原 国弘
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第62期 第1四半期 連結累計期間	第63期 第1四半期 連結累計期間	第62期
	自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (千円)	5,998,522	6,346,402	30,199,181
経常利益(損失) (千円)	69,210	118,637	1,233,728
四半期(当期)純利益(純損失) (千円)	66,406	42,475	723,760
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	110,575	52,858	684,860
純資産額 (千円)	7,538,374	8,321,133	8,333,810
総資産額 (千円)	20,894,333	22,025,953	22,940,252
1株当たり四半期(当期) 純利益金額(純損失金額) (円)	10.13	6.48	110.44
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	36.1	37.8	36.3

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第62期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

第63期第1四半期連結累計期間及び第62期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第62期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災とその後の電力供給問題、円高傾向の長期化などの影響で景気の先行きに対する不透明感が強まっております。

当社グループ最大の得意先であるレストラン・ファストフード等の外食関連産業も、消費マインドの冷え込みで経営環境は一層厳しさを増しており、当社グループにとりましても引き続き厳しい状況が続いております。

このような情勢の下で、当第1四半期連結累計期間の売上高は63億4千6百万円（前年同四半期比5.8%増）を計上いたしました。また利益面では、経常利益は1億1千8百万円（前年同四半期は経常損失6千9百万円）、四半期純利益は4千2百万円（前年同四半期は四半期純損失6千6百万円）となりました。

なお、当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり単一のセグメントであります。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の財政状態については、総資産は売上債権の減少等により、前連結会計年度末比9億1千4百万円減の220億2千5百万円となりました。負債については仕入債務の減少等により、前連結会計年度末比9億1百万円減の137億4百万円となりました。純資産は前連結会計年度末比1千2百万円減の83億2千1百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、4千3百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 従業員数

当第1四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第1四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

当第1四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年8月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,136,000	7,136,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数100株
計	7,136,000	7,136,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日		7,136,000		1,471,150		1,148,365

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、該当事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成23年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 582,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,552,800	65,528	
単元未満株式	普通株式 800		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	7,136,000		
総株主の議決権		65,528	

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社フジマック	東京都港区新橋 五丁目14番5号	582,400		582,400	8.16
計		582,400		582,400	8.16

2 【役員の様況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の様動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,447,686	6,441,450
受取手形及び売掛金	7,678,296	4,691,287
商品及び製品	1,751,384	1,704,652
仕掛品	83,635	104,732
原材料及び貯蔵品	1,079,732	1,059,804
その他	735,127	849,492
貸倒引当金	38,921	29,350
流動資産合計	15,736,942	14,822,069
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,752,604	2,762,188
減価償却累計額	2,084,243	2,099,314
建物及び構築物(純額)	668,360	662,874
機械装置及び運搬具	2,808,354	2,803,831
減価償却累計額	2,370,719	2,378,917
機械装置及び運搬具(純額)	437,634	424,913
土地	3,821,848	3,821,848
その他	1,274,836	1,284,236
減価償却累計額	1,169,195	1,178,702
その他(純額)	105,640	105,534
有形固定資産合計	5,033,484	5,015,171
無形固定資産	26,182	26,012
投資その他の資産		
投資有価証券	667,635	694,732
その他	1,667,193	1,660,347
貸倒引当金	191,185	192,379
投資その他の資産合計	2,143,643	2,162,700
固定資産合計	7,203,310	7,203,883
資産合計	22,940,252	22,025,953

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,611,675	7,653,068
1年内返済予定の長期借入金	493,168	456,408
1年内償還予定の社債	1,000,000	1,000,000
未払法人税等	233,447	201,609
賞与引当金	324,859	151,407
役員賞与引当金	10,402	2,600
製品保証引当金	76,600	77,100
受注損失引当金	36,000	32,000
その他	1,081,602	1,464,112
流動負債合計	11,867,755	11,038,307
固定負債		
長期借入金	1,015,299	937,194
退職給付引当金	291,363	292,507
役員退職慰労引当金	289,614	294,401
その他	1,142,408	1,142,408
固定負債合計	2,738,685	2,666,511
負債合計	14,606,441	13,704,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,471,150	1,471,150
資本剰余金	1,148,365	1,148,365
利益剰余金	4,655,802	4,632,742
自己株式	441,299	441,299
株主資本合計	6,834,018	6,810,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,222	32,394
土地再評価差額金	1,567,748	1,567,748
為替換算調整勘定	83,178	89,968
その他の包括利益累計額合計	1,499,792	1,510,175
純資産合計	8,333,810	8,321,133
負債純資産合計	22,940,252	22,025,953

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	5,998,522	6,346,402
売上原価	4,013,191	4,191,481
売上総利益	1,985,330	2,154,920
販売費及び一般管理費	2,056,142	2,063,778
営業利益又は営業損失()	70,811	91,142
営業外収益		
受取利息	1,575	461
受取配当金	7,694	7,455
受取手数料	10,100	17,620
受取賃貸料	7,656	4,006
その他	18,153	19,830
営業外収益合計	45,180	49,374
営業外費用		
支払利息	13,341	10,875
持分法による投資損失	21,750	-
為替差損	-	5,624
その他	8,487	5,378
営業外費用合計	43,579	21,879
経常利益又は経常損失()	69,210	118,637
特別利益		
固定資産売却益	164	161
貸倒引当金戻入額	5,900	-
移転補償金	11,237	-
特別利益合計	17,302	161
特別損失		
固定資産除却損	489	432
投資有価証券評価損	7,545	758
関係会社整理損	13,565	-
その他	12	137
特別損失合計	21,612	1,328
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	73,521	117,471
法人税、住民税及び事業税	39,167	124,776
法人税等調整額	46,282	49,781
法人税等合計	7,115	74,995
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	66,406	42,475
四半期純利益又は四半期純損失()	66,406	42,475

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	66,406	42,475
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,480	17,172
繰延ヘッジ損益	50	-
為替換算調整勘定	29,739	6,789
その他の包括利益合計	44,169	10,382
四半期包括利益	110,575	52,858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110,575	52,858
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間
(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

次のとおり金融機関からの借入金等に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
富士マック? 有限公司	5,630千円	富士マック? 有限公司	5,598千円
福喜マック貿易(上海)有限公司	122,514 "	福喜マック貿易(上海)有限公司	121,646 "
計	128,144千円		127,244千円

2 手形割引高及び裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
受取手形裏書譲渡高	215千円	589千円
輸出割引手形		2,294 "

(四半期連結損益計算書関係)

注記すべき事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
減価償却費	64,394千円	59,718千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月25日 定時株主総会	普通株式	52,428	8	平成22年3月31日	平成22年6月28日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	65,535	10	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益(純損失)金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益(純損失)金額	10円13銭	6円48銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(純損失)金額(千円)	66,406	42,475
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(純損失)金額(千円)	66,406	42,475
普通株式の期中平均株式数(株)	6,553,584	6,553,584

(注) 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年6月30日)
<p>当社は、平成23年7月15日の労使合意により、平成23年10月2日に現行の税制適格退職年金制度から確定拠出年金制度及び前払退職金制度への移行を予定しております。移行に当たっては、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用する予定であります。</p> <p>なお、本制度変更に伴う当連結会計年度の損益に与える影響額は、現在算定中であります。</p>

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月12日

株式会社フジマック

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 原 田 誠 司 印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 高 橋 正 伸 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フジマックの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フジマック及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。